

その他基金の対象となるもの

明治41年建築
明治期の住宅建築の
貴重な遺構。
手の込んだ装飾の密度は、
鎌倉のみならず、
県内でも最高のもの。



旧諸戸邸
(旧鎌倉市長谷
子ども会館)

昭和4年建築
ハーフティンバースタイルの
華頂侯爵の別邸。
鎌倉三大洋館の一つ
として知られています。



旧華頂宮邸

昭和9年建築
主屋は飛騨高山の
養蚕農家を移築したもの。
海が扇形に見える眺望に因んで
「扇湖山荘」と
名付けられました。



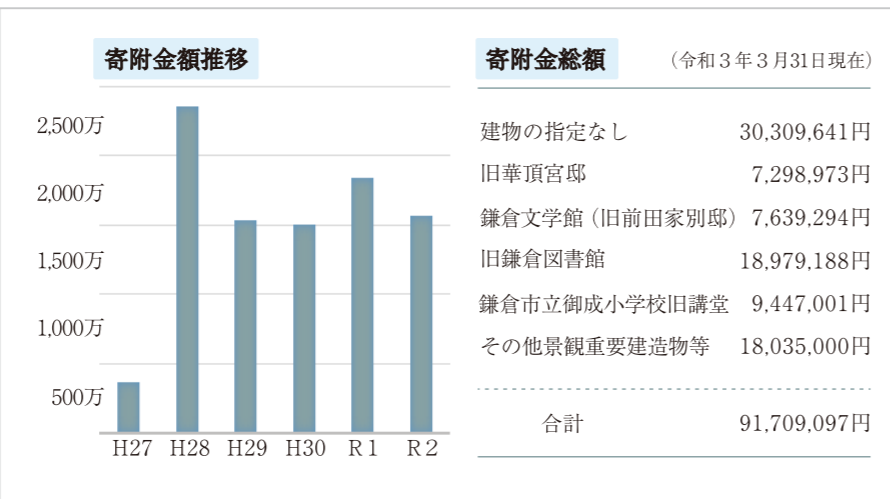
扇湖山荘

素敵なたてものには
一つ一つ物語があって、
描いていて楽しいですね
いつまでも残ってほしい、
まちの宝物です



画家
伊東雅江さん

- 景観重要建造物
旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)
- 景観重要建築物等
鎌倉文学館(旧前田家別邸)／伊藤邸(旧望洋楼)／
篠田邸(旧村田邸)／寸松堂／日本基督教団鎌倉教会会堂／
日本基督教団鎌倉教会付属 ハリス記念鎌倉幼稚園／
かいひん荘 鎌倉／石川邸(旧里見淳邸)／川合邸／
鎌倉聖ミカエル教会聖堂／旧諸戸邸(鎌倉市長谷子ども会館)／
白天堂／小池邸／石鳥邸／旧安保小児科医院／旧村上邸／
旅館対櫻閣／笹野邸／のり真安齋商店／三河屋本店／
東勝寺橋／榎亭／湯浅物産館／去来庵／ホテル ニューカマクラ／
平井家住宅・長屋門／旧華頂宮邸／野尻邸(旧大佛次郎茶亭)／
加賀谷邸／極楽洞／旧神奈川県営湘南水道鎌倉加圧ポンプ所／
旧三橋旅館蔵／猪熊邸(旧武基雄自邸)／萬屋本店
- その他本市の都市景観の形成に重要な役割を果たしていると認められる建造物
鎌倉市立御成小学校旧講堂／旧鎌倉図書館／扇湖山荘



過去 現在 未来

鎌倉市 景観重要建造物等 保全基金

鎌倉市は、都市景観の形成に重要な役割を果たしている
建造物の保全活用(支援を含む)のための資金として、
「鎌倉市景観重要建造物等保全基金」を設けています。

まちの資産を 後世に伝えるために

鎌倉市はSDGs未来都市として、
古都のまち並み・歴史的建造物の
保全活用に取り組んでいます。
鎌倉らしい風景を次世代に引き継ぐために
皆様のご協力をお願いします。

歴史的建造物は、わたしたちのまちの歴史を伝え、美しくうるおいのある景観に寄与するものです。平成27年度の基金創設以来、全国の多くの方からご賛同をいただき、総額約9千万円の寄付を頂いています。しかしながら、歴史的建造物の維持修繕のためには多くの資金が必要となります。鎌倉のまちの資産を後世に伝えるため、ぜひふるさと寄附金にご協力をお願いいたします。

- ◆対象建造物
 - 景観重要建造物(景観法第19条第1項に規定)
 - 景観重要建築物等(鎌倉市都市景観条例第30条第1項に規定)
 - その他本市の都市景観の形成に重要な役割を果たしていると認められる建造物
- ◆寄附金控除について
 - 鎌倉市景観重要建造物等保全基金に対する寄附金は、ふるさと納税制度による寄附金控除の対象となります。
 - 制度の内容については、鎌倉市ホームページをご覧ください。
 - ポータルサイトをご利用いただくとお申込みが便利になります。



ポータルサイトはこちら



鎌倉市立御成小学校旧講堂

昭和8年建築。多くの住民の寄附と鎌倉の大工の総力をあげて鎌倉御用邸跡に建築された御成小学校の旧講堂。和洋折衷の様式で、屋根上の2つの排気塔が特徴的。ヘレン・ケラーの講演も行われました。

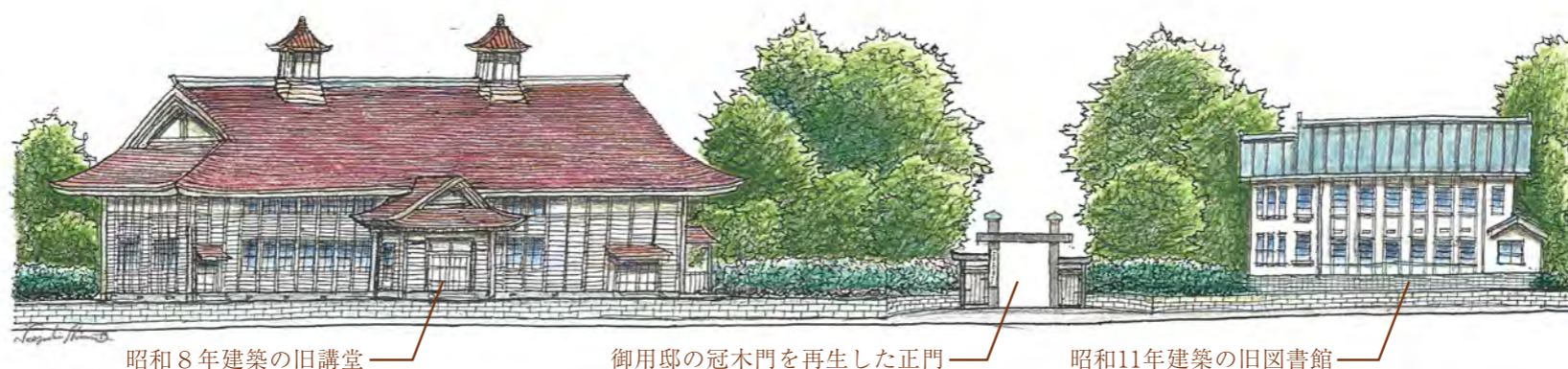
もう一度、学校施設として使ってほしい。



鎌倉市中央図書館所蔵

- 工事内容:基礎新設/耐震補強/屋根葺き替え/特別教室、会議室の確保/トイレ、スロープの設置等
- 実施時期:令和6年度~令和7年度(予定)

昭和8年の講堂、昭和11年の旧図書館、御用邸をほうふつさせる冠木門(御成小学校正門)、豊かなみどりとこれらが一体となった風景は、「鎌倉らしさ」を印象づけるかけがえのないもの



昭和8年建築の旧講堂

御用邸の冠木門を再生した正門

昭和11年建築の旧図書館

旧鎌倉図書館

昭和11年建築。関東大震災により倒壊した前図書館に代わり間島弟彦さんの寄附で建築。洋風の縦長窓と和風の懸魚等を併せ持つ和洋折衷様式で市民に親しまれてきました。御成小学校と隣接した立地を生かし、子ども施設としてよみがえります。

鎌倉の文化を高めるために作られた図書館。地域の文化を継承したい。

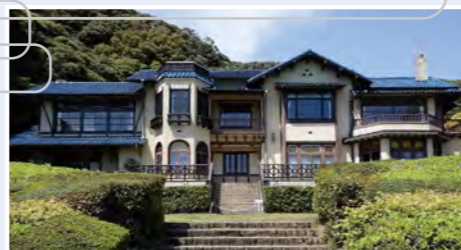


鎌倉市中央図書館所蔵

- 工事内容:耐震改修/増築工事
- 実施時期:令和3年度~令和4年度(予定)

鎌倉文学館(旧前田家別邸)

昭和11年の建物を昭和60年に文学館として開館。30年の時を経て、老朽化した部分の改修を行います。

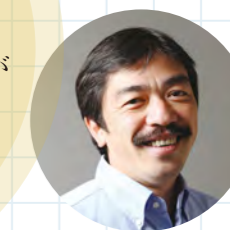


昭和11年建築。加賀百万石の藩主・前田家の系譜である前田侯爵家の旧別邸。昭和60年に鎌倉文学館として開館。鎌倉三大洋館の一つとして知られています。

- 工事内容:屋根修繕/木部修繕/床・壁・天井修繕
- 実施時期:令和5年度~令和6年度(予定)

近代の建物は、その土地の気候や風土にあわせ、地域の建築家や大工が総力を結集したものばかりです。特徴的な外観とともに先人たちの思いがまち並みに個性と奥行を感じさせます。しっかりと次世代に引き継ぐことが今を生きる私たちの使命です。

鎌倉市景観審議会会長
東北芸術工科大学教授
志村直愛さん



木造の建物は傷んだ所を取りかえ、直すことで使いつづけることができます。傷みがはげしい建物でも丁寧に修復することでかつての姿によみがえります。これまでも、文化財として数多く再生してきました。



宮大工棟梁
松本高広さん

古い建物を直す技術

- わたしたちのまちの資産を後世に伝えるために、歴史的な建物を修繕しながら遺していく必要があります。
- 歴史的な建物の修繕等には、昔ながらの材料と高い技術が必要となります。



柱の根継ぎ

腐ってしまった柱の根元を撤去し、部分的に新しい木材を組み入れる修繕方法です。古い木材と新しい木材を噛み合わせる「仕口」の加工には高い大工技術が必要です。



壁の塗り替え

歴史的な建物の壁には漆喰などの湿式壁が多く使われています。下塗りから仕上げまで何度も塗り重ねる丁寧な左官技術が必要とされます。



屋根の葺き替え

古い建物の屋根には、防水紙等が使われておらず、雨漏りの危険性があります。銅葺きや茅葺き等、現代では高価な材料と高い加工技術を要する屋根も多くあります。